



桜花爛漫の春



多くの学校を訪問して児童生徒の元気な声と笑顔に出会うとき、教育委員としてやりがいをととても感じています。

学業やスポーツはもちろん、海外での体験や伝統文化学習の実践、また豪雨災害でのボランティア活動など、年間を通じて多くの活躍の様子に出会うことができます。

この春、桜花爛漫の中、新入生を迎えたすべての学校で、前向きで健全な日々が積み重ねられますようお願いさせていただきます。

京都府教育委員会では、安心・安全な教育環境づくりは何にもまして優先すべき課題と考え、いじめや暴力行為の未然防止・早期発見・早期解決が叶うよう全力投球しています。また、未曾有の震災被害から三年の月日が経ちました。学校施設の耐震対策も急ピッチで進めています。特別支援教育では、一人一人に応じた教育支援・就労支援の充実に取り組んでいます。府立高校では、生徒の多様な夢の実現に向けて選択肢を提示できるよう、学校の魅力づくりに励んだり、地域社会の期待に応えようと、新たなコースの設置にも挑戦しています。

今後も各方面からのご支援をいただき、教職員が一つになって「京都府教育振興プラン」に基づく取組を確実に進めてまいります。

京都府教育委員会 委員長 畑 正高



京都府の教育

平成26年度当初予算
総額1,884億8,700万円

京都府教育委員会では、「京都府教育振興プラン」に基づき、府民の皆さんからお預かりした予算をもとに責任を持って教育行政を推進します。今回は、その中から重点的な施策をご紹介します。

平成26年度当初予算や「京都府教育振興プラン」の詳しい内容、教育に関する取組などは、京都府教育委員会のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

京都府教育委員会 [検索](#)

安心・安全な教育環境づくり

約28億6,951万円

いじめや暴力をはじめとする問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のための取組を行います。



- ・法やルール、きまりについてなぜ必要なのかを自ら考え理解することで、実生活の行動に移せる力を育てる取組「**法やルールに関する教育**」を進めていきます。
- ・「**いじめ未然防止・早期解消支援チーム**」を設置し、第三者的立場で学校のいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行います。
- ・第三者機関としていじめの防止対策を調査審議し、重大事態を調査する「**いじめ防止対策推進委員会**」を設置します。
- ・PTAと連携した地域ぐるみの声かけ(あいさつ)・見守り運動などの「**いじめ・非行防止キャンペーン**」を行います。
- ・警察をはじめとするあらゆる**関係機関との連携を強化**します。
- ・24時間対応の**電話相談**や**メール相談**などを行います。
- ・**ネットいじめ対策**として、学校非公式サイトへの書き込みなどを監視します。
- ・**スクールカウンセラーの配置**をはじめとした相談体制を充実します。
- ・重大ないじめが発生したり暴力行為が多いなど、課題がある学校に**緊急に教員を配置**し、学校体制の強化を図ります。



災害に強い学校づくり、地域ぐるみの安全対策を行います。

災害に強い学校づくり

- ・災害から子どもたちの命を守ることを最優先に考え、平成27年度までに全棟着手できるよう府立学校施設の耐震対策を進めます。今年度は28校、53棟の工事を実施します。

地域ぐるみの安全対策

- ・「スクールガード・リーダー(警察官OBや防犯の専門家など)」の学校巡回指導や、学校安全ボランティアによる登下校時のパトロールなど、社会総がかりで子どもたちを見守る活動を支援します。
- ・『いのちを守る「知恵」をはぐくむために～学校における安全教育の手引～東日本大震災の教訓を踏まえて』を活用し、実践的な防災訓練・防災教育を行います。



特別支援教育の充実

約4億5,142万円

障害のある子どもたち一人一人の自立と社会参加を目指した取組を総合的に進めます。

就労希望の実現

- ・特別支援学校卒業後の就労に向けて、ビルメンテナンスや介護分野など外部の専門家による職業教育の充実や、学校と企業とのつなぎ役となる「**就労支援コーディネーター**」を配置し、企業とのマッチング向上や就労後の職場定着などの支援を行います。



就学前からの支援

- ・「京都府スーパーサポートセンター」を拠点に、府内各地で専門的な研修や研究、教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、就学前から卒業後までを見通した特別支援教育を推進します。

夢に応えられる府立高校づくり

約5億2,802万円

やりたいことが見つかる、やりたいことにチャレンジできる。魅力ある府立高校をつくります。

多彩な教育メニューで夢へのチャレンジを支援します。



大学や予備校等と連携

- ・「研究室」(スクールラボ)を高校内に設置し、最先端の科学研究など、大学と連携した探究活動を推進します。
- ・京都大学とのタイアップで「**京都数学グランプリ**」「**京都物理グランプリ**」を開催し、サイエンスへの興味関心を高めるとともに、国際科学オリンピックへの出場を目指します。
- ・予備校などが配信するデジタル教育コンテンツを活用し、自学自習をサポートします。

伝統文化への挑戦

- ・京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じ、

地域とつながるボランティア活動

- ・高校生のボランティア活動を支援し、地域とつながる取組を推進します。

実践的なキャリア教育

- ・職業学科共同で新たな商品ブランドを開発したり、生徒が「**高校生カンパニー**」を創業し、企画・生産・販売までの6次産業化を実践します。
- ・高校と企業が一校一社連携し、特別講座やワークショップを行うことで未来のスペシャリストを育てます。



北部地域初!

福知山高校(福知山市)に中高一貫教育を導入

府内3校目となる府立中学校を平成27年4月に併設し、6年間の中高一貫教育を通して「**個を活かし、公に生きる**」生徒の育成を目指します。

京都丹波地域初!

南丹高校(亀岡市)に「ものづくり系列(仮称)」を新設

平成27年4月に工業科目が専門的に学べるコースを新設します。生徒の就業につながるよう地元企業と密接に連携します。

高校生の修学支援事業

約31億9,457万円

公立高校の授業料について

- ・国の授業料無償制の見直しにより、平成26年度の入学生から授業料をご負担いただくことになりました。ただし、保護者等の市町村民税「**所得割額**」が30万4,200円未満のご家庭は、申請手続きをしていただければ**直接授業料を納める必要がなくなります**。(国の就学支援金が授業料に充てられるため。)
- ・平成25年度から継続して在籍している生徒は旧制度の対象となりますので、これまでどおり授業料を納める必要はありません。

申請の方法は? 高校から配布される申請書と、課税証明書等を高校に提出いただけます。また、新年度の市町村民税「**所得割額**」(府民税は含まれません。)の確認のため7月頃に収入状況届の提出が必要です。

修学支援事業の充実

- 6月以降に高校からご案内します。
- ・市町村民税非課税の世帯に返済不要の給付を行う「**奨学のための給付金支給事業**」<新規>
- ・遠方の府立高校に通学する際の費用を軽減するための「**通学費補助事業**」 など

現在新規受付中

- ・経済的に修学が困難な高校生などに無利子または低利子で貸し付けを行う「**高校生等修学支援事業**」

お問い合わせ
各府立高校または京都府教育庁 高校教育課 修学支援担当 Tel: 075-414-5856・5154

—世界に羽ばたきたい— そんな君たちを応援します



- ・国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、高校生の海外留学を支援します。
- ・海外の大学進学につながる教育カリキュラム「**国際バカロレア**」を府立高校に導入するための調査研究を行います。

海外に留学したい高校生集まれ!

～府立高校生グローバルチャレンジ500事業～

エディンバラ語学研修補助事業

京都府と友好提携を結んでいる英国エディンバラ市にある「**エディンバラカレッジ**」での語学研修に参加する生徒に、費用の一部を補助します。

- ◆研修期間 平成26年7月26日(土)～8月19日(火)(予定)
- ◆募集人数 30名 ◆募集時期 平成26年5月下旬(予定)

海外短期留学チャレンジ補助事業

英語圏での語学学習に加え演劇やスポーツなどにチャレンジする生徒を応援するため、留学費用の一部を補助します。

- ◆対象となる留学
- ・平成26年4月～平成27年1月の間で1か月程度の留学
- ・英語を公用語とする国や地域で週15時間以上の語学研修を2週間以上実施
- ◆募集人数 60名 ◆募集時期 平成26年5月下旬(予定)

申込方法などのお問い合わせ
在籍する府立高校または京都府教育庁 高校教育課 振興担当
Tel: 075-414-5849・5815

土曜教育の推進

900万円



土曜日における、学校、家庭、地域社会が連携した多様な魅力的な教育活動の実現に向け、昨年度は府内232の公立小・中学校、府立高校で土曜日を活用した教育の実践研究を進めてきました。今年度も実践的な取組が多くの学校で行われます。

京都府版マスタース大会開催

400万円



毎年10月頃に開催している京都府民総合体育大会に50歳以上を対象としたマスタース部門を設置します。それにより、平成33年に京都府を含む関西一円で開催されるワールドマスタースゲームズの機運を高めるとともに、中高年の運動・スポーツ活動の充実を図ります。

この先生がスゴイ!

ミューリ・ニコラスさん
北稜高校(左京区) Nicholas Miuili

経歴

スペシャリスト特別選考を経て平成20年度から教員として採用。英語のスペシャリストとしてオールイングリッシュによる授業など特色ある教育活動を行っています。部活動ではE.S.S (English Speaking Society)の指導やラグビー部の顧問として合宿や公式戦の引率などを行い、生徒のあらゆる面での成長にも目を向けています。



「ミューリ先生の授業は他の英語の授業とは全く違う。」と話す岡崎和輝さん(右から2人目)。「先生、今度一緒に英語でかたるたてみましょうよ。」競技かるた部に所属している藤原京香さん(左)の誘いに、ミューリさんは笑顔で応えます。「英語のスピーチコンテストに出たり、よく頑張っていますね。」ミューリさんの言葉に嬉しそうなお顔をみせる山地英里香さん(右)。「私の経験上、母国アメリカには無かった“ホームルーム担任”にずっとなりたかったんです。北稜高校で担任として日々生徒と向き合い、困難の中にも充実感を味わいながら過ごしています。生徒には、英語に限らず自分の考えを伝えられる人に育って欲しい。これからもネイティブだからこそできる英語教育をしていきたいです。」とミューリさんは語ります。

教育局の取組をご紹介します

南丹パートナーズクール事業 (外国語活動) 南丹教育局(南丹市)

南丹教育局では、地元府立高校の教育資源を生かすため管内小学校と園部高校「京都国際科」とを結んだ事業に取り組んでいます。

年4回、小学生と高校生と一緒に英語のゲームやスピーチなどの外国語活動を行っており、コミュニケーション能力や学習意欲の高まりといった成果が現れています。

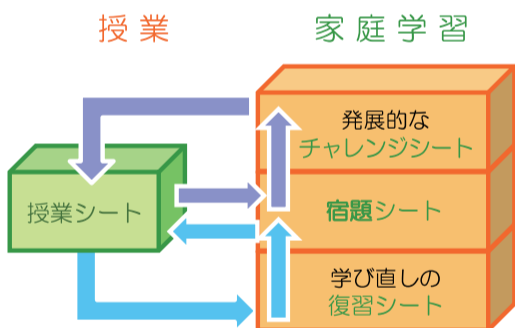
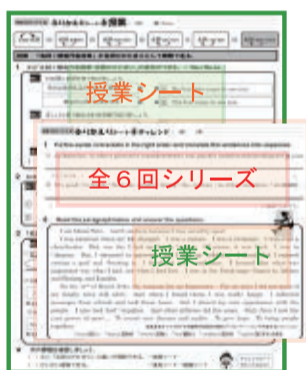
高校生からサポートを受けながら小学生が英語でスピーチ



小グループになって英語で自己紹介



家庭学習に役立つ「中3『ふりかえりシート(英語)』」を 中学・高校教員が共同開発! 中丹教育局(綾部市)



高校英語科の学習につながるよう、中丹管内の中学・高校の教員が協働で、中学3年生用の「ふりかえりシート」を開発しました。中学3年生が英語科授業と連動して、学び直しの復習・発展的な予習など、自ら選択・活用できます。

「学校で勉強した問題がスッと解けて嬉しかった。」「英語の長文が訳しやすくなって、読むのが楽しくなった。」と生徒から好評です。

シリーズ人権

金メダルの向こう側に…

～「理解と協力」の中で～

皆さんは「デフリンピック」をご存じですか。パラリンピックには聴覚障害者が出場する種目はなく、聴覚障害者の大会はデフリンピックと呼ばれています。

女子卓球界で活躍する舞鶴市出身の上田萌さんは、生まれながらにして聴覚に障害があります。萌さんが5歳で卓球を始めたきっかけは、福原愛さん(当時6歳)にあこがれたからだそうです。



2013デフリンピックで活躍する上田萌選手(写真提供:日立化成(株))

卓球に必要なボールの回転や曲がりを音で判断することができないため、指導者やチームメイトは聴覚障害への理解を深め協力し、家族は萌さんが健聴者と交流できるよう家庭でさまざまな訓練をしました。

その結果、平成25年、健聴者とペアで全日本選手権ダブルスに出場、さらにブルガリアで開催されたデフリンピックでは、女子シングルスで金メダルを獲得しました。

萌さんは語ります。「聴覚障害者が健聴者と一緒に生活したり、卓球ができることを証明したい。聴覚障害者と健聴者の架け橋になりたい。『2つの世界』が、少しでも近づいて一緒になるように、私にできることを、これからもずっと続けていきたい。」

萌さんにとって、金メダルは努力の証(あかし)の一つです。「金メダルも嬉しかったと思いますが、卓球を通じて多くの人たちとコミュニケーションがとれるようになったことの方がもっとうれしいのではないかと萌さんのお父さんは語っています。

周囲の理解と協力により、障害のある人と障害のない人の垣根が無くなるということの意味を改めて考えてみたいですね。

シリーズ文化財

禅定寺

平成二十五年京都府指定・登録文化財(建造物)



本堂



仁王門

禅定寺は宇治田原町に所在する曹洞宗寺院です。創建は平安時代に遡り、重要文化財の木造十一面観音立像をはじめ、数多くの文化財が保存されています。本堂は享保4年(1719)に建てられた茅葺の建物で、京都府内の曹洞宗本堂建築としては建立年代が古く、屋根を支える構造も珍しく、大変貴重です。仁王門は享保6年(1721)に建てられた本瓦葺の建物で、本堂とともに境内地の歴史的な景観を構成しています。

アクセス 京阪宇治駅より 京阪宇治バス「維中前」下車徒歩約30分

あなたの悩みについて、一緒に解決の方向を考えましょう。

ひとりで悩まないで!

電話教育相談

ふれあい・すこやかテレフォン
(24時間受付)
075-612-3268・3301
または
0773-43-0390

メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してアクセスしてください。携帯電話からも相談できます。
※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

来所教育相談

京都府総合教育センター(伏見区)、北部研修所(綾部市)にて

巡回教育相談

乙訓(向日市)、山城(京田辺市)、南丹(南丹市)、丹後(宮津市)の各教育局、アグリセンター大宮(京丹後市)にて

臨床心理士や精神科医等が直接会ってお話を伺います。来所・巡回教育相談のお申し込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネットいじめ通報サイト

発見したら通報してください。



体罰専用相談電話

075-612-5013
(毎週水曜日11:30~18:30)